



## 小矢部市

# 「ゼロカーボンシティ」宣言

～未来にやさしい環境と安全安心に暮らせるまちの実現に向けて～

近年、地球温暖化の問題は、わたしたちの生活に直接の影響を及ぼしています。国内においても毎年、大型で強い台風や豪雨災害による甚大な被害が発生しているほか、夏季には酷暑が連日続くなど、これまでに経験したことのない異常気象に見舞われており、本市においても、市民生活に大きな影響が及んでいます。

2018年に公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書では、「産業革命からの平均気温上昇の幅を2度よりリスクの低い1.5度に抑えるためには、2050年までに温室効果ガスの実質排出量をゼロにすることが必要」とされており、2020年10月には、国が「カーボンニュートラル」を宣言し、国内においても、脱炭素社会の実現に向けて政策を強力に推進していく方針が掲げられています。

今まさに、市の将来を見据えて、市民共有の財産である恵まれた自然環境を次世代に継承していくとともに、市民が快適に暮らすことができる環境共生社会づくりを実現していくためにも、市民一人ひとりが地球温暖化の問題を喫緊の課題として位置付ける必要があります。

本市は、市民・事業者・行政が一体となって地球温暖化対策に取り組み、「未来にやさしい環境と安全安心に暮らせるまち」を実現するため、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言します。

令和3年12月9日

小矢部市長

桜井森夫